

【5】平成30年度 難病医療従事者研修会

平成30年12月9日(日) 橿原市役所分庁舎ミグランスにおいて、難病医療従事者研修会を開催しました。

今年度は「重症難病患者と家族の意思決定支援」をテーマに、登録医療機関の職員の方々、訪問看護師、理学療法士、作業療法士、ケアマネージャー等の在宅療養支援者の方々、計81名にご参加いただきました。



【講演】

「医療コミュニケーション」

～なぜスキルが使えないのか～

講師 奈良県立医科大学 公衆衛生学講座講師

岡本 左和子 氏

講師から、患者・家族と支援者が共通の認識に立って話をすることの大切さ、共通の認識を図るために注意すべきこと、コミュニケーションのメカニズムを念頭に明日の臨床に活かせるコミュニケーションの方法について、具体的にご提示いただきました。また、事例検討を通して、支援者が陥りがちなコミュニケーションの傾向を明らかにし、具体的な改善方法について、参加者同士で共有することができました。

アンケート結果

- ・患者様の苦情をプラスに変える努力をしたいと思います。
- ・相手と自分の意識のずれを会話ややりとりの中で確認して修正していくことが大切である。
- ・相手の話を復唱することで共感しているつもりであったことに気づきました。
- ・今回教えていただいたことを自分のものにできるよう取り組み、1人でも多くの患者に対し、良い関わりができるようにしたいです。
- ・難病の方だけでなく、コミュニケーションについて基本を再度学ぶことができ、今後も日々の支援において、意識しながら業務にあたりたいと思いました。

奈良県難病相談支援センター(郡山総合庁舎内)

所在地: 大和郡山市満願寺町60-1 郡山総合庁舎内

TEL: 0743-51-0197

アクセス: 郡山総合庁舎の正面玄関にバス停あり

奈良交通バス 近鉄大和郡山駅より

バス約12分
(11時~16時、毎時21分発)



発行: 奈良県神経難病医療連絡協議会事務局

〒639-1041 奈良県大和郡山市満願寺町60-1 奈良県郡山総合庁舎

(奈良県難病相談支援センター内)

TEL 0743-51-0197

FAX 0743-52-6095

奈良県神経難病医療ネットワークの一般協力病院に南和医療圏の南和広域医療企業団五條病院と吉野病院が新たに加わり、登録医療機関が全部で28医療機関となりました。

引き続き多くの医療機関に協力いただけるよう働きかけていきます。

【1】拠点病院・専門協力病院・一般協力病院一覧 (平成31年3月1日現在)

○拠点病院(1カ所)

拠点病院	所在地	医療圏
1 県立医科大学附属病院	橿原市	中和

○専門協力病院(10カ所)

専門協力病院	所在地	医療圏	専門協力病院	所在地	医療圏
1 独立行政法人 国立病院機構 奈良医療センター	奈良市	奈良	6 医療法人 新生会 高の原中央病院	奈良市	奈良
2 市立奈良病院	奈良市	奈良	7 公益財団法人 天理よろづ相談所病院	天理市	東和
3 社会福祉法人恩賜財団 済生会奈良病院	奈良市	奈良	8 社会医療法人 平成記念病院	橿原市	中和
4 医療法人拓生会 奈良西部病院	奈良市	奈良	9 医療法人 八甲会 潮田病院	吉野町	南和
5 地方独立行政法人県立病院機構 奈良県総合医療センター	奈良市	奈良	10 南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター	大淀町	南和

○一般協力病院(17カ所)

一般協力病院	所在地	医療圏	一般協力病院	所在地	医療圏
1 特定医療法人 岡谷会 おかたに病院	奈良市	奈良	9 医療法人 健和会 奈良東病院	天理市	東和
2 特定医療法人 新仁会 奈良春日病院	奈良市	奈良	10 宇陀市立病院	宇陀市	東和
3 医療法人 平和会 吉田病院	奈良市	奈良	11 大和高田市立病院	大和高田市	中和
4 医療法人 青心会 郡山青藍病院	大和郡山市	西和	12 医療法人 健生会 土庫病院	大和高田市	中和
5 医療法人 厚生会 奈良厚生会病院	大和郡山市	西和	13 医療法人 桂会 平尾病院	橿原市	中和
6 医療法人 友絃会 西大和リハビリテーション病院	上牧町	西和	14 医療法人 弘仁会 南和病院	大淀町	南和
7 医療法人 友絃会 奈良友絃会病院	上牧町	西和	15 医療法人 泰山会 福西クリニック	下市町	南和
8 医療法人 郁慈会 服部記念病院	上牧町	西和	16 南和広域医療企業団 五條病院	五條市	南和
			17 南和広域医療企業団 吉野病院	吉野町	南和

H31年1月より新たに加われました

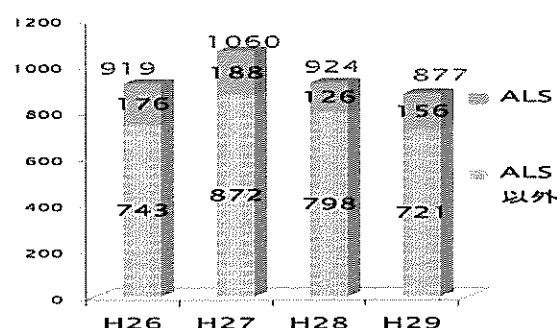
〔2〕神経難病医療ネットワーク推進事業の実績報告

毎年、神経難病患者さんの入院施設確保の現状と課題の把握を目的として、登録医療機関と各保健所の方々からご提出いただいた実績を集計し、その結果を事業の推進に活用させていただいております。

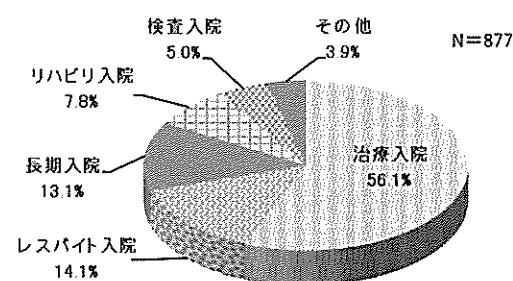
平成29年度、対象は拠点病院1カ所、専門協力病院10カ所、一般協力病院15カ所、県内保健所4カ所 計30機関(回収率100%)。主な結果は下記の通りです。

(ALS以外とは、指定難病医療費助成事業の対象である神経・筋疾患79疾患を指します。)

H26～H29年度 入院要請件数
(登録医療機関実績より)



H29年度入院目的別の割合
(登録医療機関実績より)



- ・入院要請から回答までの期間は、7日以内が502件(57.2%)。
- ・入院要請があった場合、ほぼ入院可能であった(98.4%)。

〔3〕在宅重症難病患者一時入院事業

在宅療養する重症難病患者が、家族等介護を行う方の休息等の理由により、一時的に在宅介護を受けることが困難となった場合、円滑に適切な医療機関に一時的に入院病床を確保することで、患者の安定した療養生活の確保と介護者の福祉の向上を図ります。

対象者： 下記の(1)～(4)のすべてを満たしている方

- (1) 奈良県内に住所を有する方
- (2) 指定難病医療費助成事業及び特定疾患治療研究事業における神経・筋疾患に罹患し、受給者証を所有している方のうち、在宅療養中の重症患者で医療依存度の高い状況にある方(下記のいずれかの状況)
 - ① 気管切開口を介した人工呼吸器を装着している方
 - ② 気管切開をし、頻回な吸引を必要とする方
 - ③ 筋萎縮性側索硬化症の患者で、上記①②の処置が必要な状況にあるが処置されていない方、もしくは、急な病状進行で上記①②の状況が予測される方
- (3) 家族その他の在宅での介護者の休養、疾病等の事由により、必要な医療・看護・介護を受けられなくなり、在宅療養の継続が一時的に困難な状況にあること。

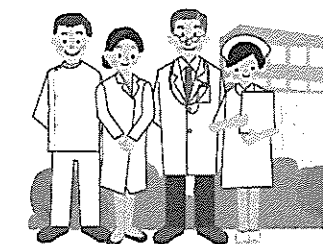
※患者さんが事業の対象となるかについては、保健所または難病相談支援センターにご相談ください。

内容： 対象患者が一時入院した医療機関に対し、一日につき19,000円を支払います。患者一人に対し1回14日以内、同一年度内において56日を限度としています。(医療機関は県との委託契約が必要です)

相談窓口 事業の詳細及び利用について、患者さんの住所地を管轄する保健所にご相談ください。

●平成29年度 在宅重症難病患者一時入院事業利用状況

利用人数	利用人数(延)	入院日数
11人	50人	342日



【各保健所のお問い合わせ先】

お問い合わせ先	連絡先
奈良市保健所	保健予防課 0742-93-8397
奈良県郡山保健所	精神保健難病係 0743-51-0195
奈良県中和保健所	難病対策係 0744-48-3036
奈良県吉野保健所	精神保健難病係 0747-64-8133
奈良県難病相談支援センター	0743-51-0197

〔4〕重症難病患者コミュニケーション支援事業

重症難病患者の病状進行に伴うコミュニケーション障害に対し、早期より患者にあったコミュニケーション方法を検討し、機器が必要な方には導入がスムーズにできるよう支援します。

対象者： 奈良県の指定難病特定医療受給者証をもっている方で、難病によるコミュニケーション障害があり、コミュニケーション機器等がなければ意思の伝達が困難である方、もしくは今後コミュニケーション障害をきたすおそれのある方。

内容： ◇コミュニケーション機器のレンタル
 〈機種〉 伝の心、スイッチセット、レッツチャット、ボイスキャリーペチャラ、スーパートーカーVOCAセット
 〈貸し出し期間〉 1か月 または 3か月
 〈料金〉 無料 (レンタル費用は県が負担)
 ◇地域や医療機関の作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等の専門職やITボランティアの方々の協力により、在宅や医療機関での支援を行います。
 〈料金〉 無料 (訪問等派遣費用は県が負担)

相談窓口 事業詳細及び利用について、患者さんの住所地を管轄する保健所にご相談ください。

●平成29年度 コミュニケーション機器レンタル実績(利用件数)

伝の心	VOCAセット	レッツチャット	ボイスキャリーペチャ	スーパートーカー	スイッチセット	合計
6	0	6	0	0	11	23

※スイッチセットは他の機器とセットでレンタルされることが多くなっています。